

西南学院大学神学部主催 公開シンポジウム

「『戦後80年』を考える」

と き：11月17日(月) 17:00～19:00

ところ：西南学院大学2号館402教室

ハイブリッド開催：入場無料

オンラインは事前予約制(11/13締切)



17:00～17:05 主催者挨拶

日原広志(神学部長)

17:05～18:05 発 題

「敗戦後80年を考える」

黄 南徳(神学部教授)

「身近な戦争遺跡からたどる80年前の空気」

伊藤慎二(国際文化学部教授)

「ポスト・コロナの老いと成熟の平和」

田村元彦(法学部准教授)

18:05～18:10 休 憩

18:10～19:00 シンポジウム

敗戦後80年間、日本は平和憲法の下、他国と戦争することなく経済的繁栄を謳歌してきました。しかし今や、防衛費のGDP比2%が既定路線となり、排外主義的な歴史修正の言説がネットに溢れ、新しい「戦前」の状況に突入しつつあります。私たちはこの機会に東アジアの戦争をめぐる過去の歴史と現在、そしてこれからの平和構築について考えたいと思います。

オンライン事前予約：

<https://forms.gle/yHnp2jrMbotT7N7z6>

お問い合わせ：sudo*seinan-gu.ac.jp
(＊を@に替えてください。)

駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。(地下鉄西新駅1番出口徒歩5分)

<https://www.seinan-gu.ac.jp/accessmap.html>

